

令和7年日常生活圏域ニーズ調査に回答された 住民の方々へのお願い



令和7年10月に米子市が実施した日常生活圏域ニーズ調査に回答された住民の方のアンケート結果をもとに川崎医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法学科・准教授 松本浩実が「高齢者におけるフレイル、生活習慣と骨折発生の因果経路解明についての研究」という研究を実施します。

研究に用いるデータは個人を特定できない形に加工されたものを用いますので、住民の方の個人のプライバシーは完全に保護されます。

もし、表題のアンケートに回答された米子市の住民の方で、研究内容・等にご質問がある場合は、令和8年9月末日までに下記の窓口までお知らせください。



【研究についての窓口】

研究責任者 松本浩実

川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部 理学療法学科

〒701-0193 倉敷市松島288

TEL：086-462-1111(内線54013)

平日8:30～17:00

E-mail: h.matsumoto0612@mw.kawasaki-m.ac.jp

＊研究の概要と詳細につきましては2P以降をご覧ください。

研究の概要と詳細について

この研究は川崎医療福祉大学倫理審査委員会の承認(承認番号26-006)を受けています。詳細は以下のとおりです。

1. 研究概要および利用目的・方法

本研究では、令和7年11月に米子市が実施した日常生活圏域ニーズ調査に回答された住民の方を対象に高齢者におけるフレイルから骨折発生に至るまでの経路の解明および地域活動、生活習慣と骨折発生の関連性について調査します。米子市が実施した日常生活圏域ニーズ調査のアンケートの結果は、個人が特定されないようにした上で米子市から提供を受け、川崎医療福祉大学リハビリテーション学部理学療法学科・准教授松本浩実が分析します。なお、分析したデータは研究責任者が責任を持って保管、管理します。

2. 取り扱う情報の項目

米子市の住民で過去に日常生活圏域ニーズ調査に回答された方について、以下の項目を集めさせていただきます。

【日常生活圏域ニーズ調査結果からの情報】

1)基本属性(年齢、性別)、2)日常生活の様子に関するアンケート項目、
3)最近の転倒・骨折経験、4)地域活動及び生活習慣(運動・スポーツ習慣の有無や頻度、栄養摂取)

3. 研究期間

この研究は、川崎医療福祉大学倫理審査委員会が研究の実施を許可した日から2028年3月31日まで行う予定です。

4. 研究組織

本研究は以下の研究組織で行います。

＜研究責任者＞

川崎医療福祉大学・准教授・松本浩実

＜研究分担者＞

鳥取大学工学部・教授・櫛田大輔

川崎医科大学高齢者医療センター・理学療法士・篠永篤志

5. 試料・情報の管理についてと責任者

本研究にご提供いただく情報については、研究責任者は、あなたの氏名、住所、など、参加者個人を直ちに特定できるような情報がすべて削除され、情報と参加者個人を結びつけることができないように加工された情報を米子市から提供をうけます。

本研究に使用させていただくアンケートに回答された方は、他の研究参加者への個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画書及び研究の方法についての資料を入手又は閲覧することができます。希望される方は、遠慮なく問合せ下記窓口にお申し出ください。

【研究についての窓口】

研究責任者 松本浩実

川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部 理学療法学科

〒701-0193 倉敷市松島288

TEL：086-462-1111(内線54013)

平日8:30～17:00

E-mail: h.matsumoto0612@mw.kawasaki-m.ac.jp